

24

05月2018

【連載】母と私たちの、初めての在宅ケア

おかげさまで娘の法要に参列できました！ 嬉しかった一泊旅行と、服薬の工夫 ～連載⑤

文責: がん・バツテン・元気隊 運営委員
大山 薫

全4ページ

2年前の4月8日、仏様の誕生を祝う花まつりの日に姉は亡くなりました。

義兄が2018年の三回忌も、4月8日に行うと一周忌の際に決めていたので、母は姉の法要に行く事をずっと願っていました。

姉が結婚してから数年、義父母と同居していた岡山県倉敷市の自宅で行われる法要です。母の体調はあまり良くありませんが、三回忌法要にはどうしても行きたいと言っていますし、私も連れて行きたいと思っていました。

父は、無理して行けば体調が悪くなるから行かない方が良く、と賛成しません。

しかし私は早めにホテルと新幹線を予約して準備をしていました。

その後、二ノ坂先生の助言や応援で、無事に法要に出席することが出来ました。

当日は法要の時間にぎりぎりの到着になりましたが、義兄や、義兄のお姉さん家族、皆さんが快く待っていてくれました。

長時間の車椅子での移動は初めてでしたが、母が快適に移動できるようにと、乗り心地の良い車椅子をレンタルし、お尻が痛くならないようにと、車椅子用クッションも使用しました。

列車の乗降の際は JR の職員さんがホームで待機してスロープを素早く設置してくれました。

体調は決して万全ではありませんでしたが、入院ではなく在宅ケアのお陰で、母の希望が叶いました。

母からの聞き書き

おかげさまで、娘の三回忌に出席できました。応援ありがとうございました

3年前に次女がすい臓がんで亡くなりました。

亡くなる迄の2年間、自分なりに出来る事を精一杯応援してきました。

ですが、亡くなってからは、「もっと側にいて看病してあげたかった、

もっと会いに行っておけば良かった、何もしてあげられなかった、ごめんね、ごめんね。」

という気持ちで心が休まらず、眠れない日が増え、導眠剤を服用する様になりました。

その後悔から、娘の三回忌法要には絶対に出席したいと思っていましたが、

現在、肺がんで自宅療養中なので行けないかもと不安でした。

法要の為、岡山県倉敷市まで新幹線で行く事を、「**こういう状態で行ったら余計具合が悪くなるから、行かない方が良い**」と主人は反対します。

それでも自分は絶対に行きたいと思い、二ノ坂先生に相談しました。二ノ坂先生はひとつ返事で、「**良いよ、行っておいで。お父さんが行かないなら僕と一緒に行くよ**」と

言って賛成し、応援してくれました。「**お母さんの希望を応援して、がんばって一緒に行こう、と言う事が、お母さんの励みになって、元気のもとになるよ**」と諭してくれた

お陰で主人も了承し、行ける事になりました。それからは、皆さんが心を込めて応援してくれて、本当に嬉しかった。

二ノ坂先生やクリニックの看護師さんは、注射や薬の増薬をして、私の体調が維持できる様にして下さり、そして、万が一に対応出来る様、現地の病院への連絡、手配、診療情報提供書の用意をしてくれました。

「手と手」のボランティアさんも情報を共有して下さり、皆さんが私が倉敷に行く事を



4月8日、法要に出席した翌日、大原美術館にて

知って応援してくれます。訪問看護師さんは、移動や宿泊に対してのアドバイスや準備をして応援してくれます。

福祉用具の担当さんは、移動が楽な車椅子を手配し、お尻が痛くならない様に特別な座布団も用意してくれました。



ホテルのロビーで

今までの病院とは違って、信じられません。たくさん患者さんがいる中で、自分の知らない看護師さんやボランティアさんまでもが、このことを知っていて、私に声をかけてくれる。

心を込めて、「大丈夫だよ、がんばって行ってらっしゃい」と、励まして応援してもらい、とても嬉しかったです。そのお陰で、倉敷への一泊二日・車椅子の旅を無事に戻って来られました。

応援してくれる皆さんのお陰で、生きる希望が湧いてきました。ありがとうという気持ちを伝えたい。

薬の服用について

現在の状況

父： 10種類 合計12錠
母： 10種類 合計18錠と2包

①お薬ケースの利用

私が、両親をにのさかクリニックへ連れて行く様になって気付いたのは、薬の飲み忘れなどで、次回受診の際に数錠残っていることでした。

朝、晩、各袋に入れられた錠剤数種類を、袋から取って服用しているので、飲み忘れてしまうと、いつの分を飲み忘れたかがはっきりしません。お薬ケースの使用を勧めても、自分は大丈夫だと言って、なかなか使おうとしませんでした。

まず、試してみた100円ショップのケースでは、ひとつの仕切りが狭く、錠剤がたくさん入りません。1つ2つ入れても、指先の動きが鈍くなった高齢者にとって、狭い仕切りの中からは薬を上手く掴むことができず、取りにくい様です。

②一包化

にのさかクリニックの調剤薬局で、薬の飲み忘れを相談すると、薬の「一包化」を教えてくださいました。両親も私も、今までの病院や調剤薬局では聞いた事がなかったので、薬を



一包化することなど全く知りませんでした。

一包化の薬を、インターネット検索で見つけ購入した、大きめのお薬ケースに入れる様になってからは、薬の飲み忘れがなくなり大変助かっています。(自費購入 約 2,000円)

③大きな錠剤は半分にカット

1ヶ月くらい前から母が「大きな錠剤がのどに引っかかり飲み込み辛い、服用に時間がかかりストレスを感じる」と言い出しました。

薬は10種類あり、合計18錠と2包も飲まなければいけません。その中に大きめの錠剤が2つあります。とりあえず、一包化の袋からその薬を出して、私がハサミで半錠にカットしてからまた袋に戻して閉じる、という作業をしましたが、上手く薬が切れず、割れて



一部が粉々になってしまいます。

薬剤師さんに相談すると、薬局で調剤の際に、専用のハサミでカットして入れてくれることになりました。

一包化、錠剤のカット。調剤してもらうのに多少時間がかかりますが、私は薬の管理がしやすくなり、両親にとっては薬の服用が楽になり、飲み忘れが無くなりました。

(つづく)